

橋本 広大 先生

先生のプロフィール

【出身地】

千葉県市川市

【専攻】

刑法

【近年(2~3年)の担当科目】

刑法総論 A・B、法と人間の尊厳、海外法文化
研究 A、ゼミ等



Q 刑法に興味を持った理由

刑法には、講義（刑法総論を鈴木左斗志先生、刑法各論を佐藤拓磨先生に学びました）を受けていて自然と興味を持つようになりました。私の研究テーマの一つに処罰の早期化がありますが、早期化の程度やそれを限界づける論理が国ごとに異なるのも学習していて驚いたことの一つで、刑法になおのこと興味を持つきっかけとなりました。

Q 大学時代のガクチカ

大学時代に力を入れて取り組んだことは、まずは個別塾講師のアルバイトです。塾の新しい教室のオープン前の準備から関わり、大学院の修士課程まで6年間続けました。同じ相手（生徒さん）と一定期間継続して向き合って課題を解決していく（苦手な科目を克服する、受験で志望校に合格する等）という経験ができるのは個別塾講師のアルバイトに特徴的なことかもしれませんね。アルバイト仲間も大学生がほとんどで、みんなで遊びに行ったりもしてとても良い思い出です。他にも、自分の所属していた刑法学のゼミ（佐藤拓磨ゼミ）で代表をつとめたほか、大学の副専攻の制度で文系学生向けの物理学のゼミ（下村裕ゼミ）にも所属していました。自然科学系科目を多く履修したり、キャンパスを歩き来したり実験を繰り返したりで大変でしたが、論文を書いて物理学の副専攻も認定されたので達成感がありました。

Q ゼミでやりたいイベント

ゼミ対抗のスポーツ大会があると面白そうだなと思います。自分が大学生のときにはゼミ対抗ソフトボール大会があり、ゼミTシャツを作ったり（これで加点されるルールがありました）もして楽しかったです。他にもゼミ合宿なども続けていきたいですね！

Q 休日の過ごし方

テニスをしたりドライブをしたりすることが好きです。趣味レベルですがピアノを弾くことも好きです。

Q 欲しいドラえものの道具

旅行が好きなので「どこでもドア」です！他にも、「タイムテレビ」で自分が参加できなかったライブの映像や恐竜がいた頃の様子などを見てみたいですね！

☆新1年生に一言

身近なことでよいので、少しでも興味のあることに早め早めに挑戦してみてください。たとえば、アルバイトを始めてみる（変えてみる、増やしてみる）、興味のあるスポーツをやってみる、読んでみたかった本を（難しいものでも分からないなりに）読み始めてみる、などです。東日本大震災で（私は大学1年生でした）、身近な関心を行動に移せる機会・状況は貴重なものと認識したのですが、コロナ禍でそれを再認識しました。悔いのない大学生活となるよう願っています！

★プログレッシブ 橋本 ゼミの実態！（2025年度ゼミ生 31名）

★橋本先生のトリセツ

- ・いきなり否定せず、学生の意見や考えを尊重し、最後まで話を聞いてくれる。
 - ・優しく謙虚で、学生と対等な姿勢で議論をしてくれる。
 - ・どんな質問に対しても、丁寧に詳しく説明してくれる。
- さらに、そこから派生した議論等についても紹介してくれる。 など

日々や休暇中の課題

- 【日々の準備、課題】
- ・各学期1回の報告
(ゼミの人数によっては2回)
- ←3~4人のグループで、1つのテーマにつき
分担してレジュメを作成する。
- ・事前に配布された資料を読んでおく。

【長期休暇課題】

- ・なし

活動内容

報告担当者が、担当するテーマについて事前に作成したレジュメをもとに報告(判例・学説の紹介、問題提起など)します。質疑応答や先生からのフィードバックを受けた後、担当者から提示された議題について、班に分かれて議論をします。最後に各班でまとめた意見を全体で共有することにより、理解を深めることができます。